厚木ロータリークラブ週報

JAPAN　第2780地区　Atsugi Rotary Club Weekly

会長　森住　等
副会長　和田勝美
幹事　栗原良幸
副幹事　畑中雄太
会報・IT　建部卓也

奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021～2022　国際ロータリー会長　シャカール・メータ

例会場　厚木商工会議所5F　大会議室
例会日　毎週火曜日　12：30～
事務所　厚木市栄町1丁目16番15号　厚木商工会議所内

http://www.atsugi-rotary.jp　メールアドレス info@atsugi-rotary.jp　TEL.046-222-5811　FAX.046-222-5821

第2945回例会（9月7日）☆司会　滝澤　勇SAA

点鐘　…森住　等会長

ゲスト紹介

郝　紅竹さん（米山奨学生）

会長報告

◎ガバナー事務所　より

・9月ロータリーレート　1ドル＝110円
・2021年9月　基本的教育と識字率向上月間
　リソースのご案内
・2022ヒューストン国際大会 Promotion Video
　プロモーションビデオIC22 Houston Promo JA
　1分50秒ほどで日本語字幕付き
・My Rotaryに関するアンケートのお願い（デジタル化推進委員会）

幹事報告

◎例会変更

・厚木中ＲＣ
　9月 8日（水）→休会（定款第8条第1節により）
・厚木県央ＲＣ
　9月10日（金）→オンラインZoom例会
　9月24日（金）→休会（定款第8条第1節により）
・海老名ＲＣ
　9月13日（月）オンライン例会（Zoom）12：30点鐘
　9月27日（月）オンライン例会（Zoom）12：30点鐘
・海老名欅ＲＣ
　9月 9日（木）→　Zoom例会
　9月13日（月）→　5月23日（月）に延期

スマイル

森住　等会長・栗原良幸幹事

竹内さん、退会とても残念です。コロナがなければもっと親睦が図れたと思います。新任地でのさらなるご活躍を祈念いたします。今日が最後の例会になるかもしれませんのでスマイルいたします。

森住　等会長・栗原良幸幹事

会田総括委員長、今日の卓話で「ロータリーの友」が手元にありませんが、どうぞよろしくお願いいたします。

竹内貴浩君

本日が確実に参加できる例会の最終日となりました。1年3ヶ月と言う短い期間でしたが、本当に皆さんに良くしていただき感謝しかありません。厚木ロータリークラブの更なる発展を祈念しましてスマイルさせていただきます。本当にありがとうございました。

西嶌洋一君

入会記念と事業所開設のお祝い受取ました。ありがとうございました。スマイルします。

髙橋　宏君

お誕生日のプレゼントありがとうございました。60周年記念誌の在籍会員のチェックよろしくお願いいたします。期限は9月10日です。

今日の例会（2021年9月14日）

「自己紹介・人生100年時代で変わること」

担当：愛宕淳志君

次回の例会（2021年9月21日）

「モビリティ世界の創造」

担当：藤原純一君

奉仕しよう　みんなの人生を豊かにするために

黒柳告芳君
事業所開設のお祝い有難うございました。

西迫　哲君
ＳＭＢＣ日興証券の竹内支店長、短い間でしたが色々とご指導いただき有難う御座いました。
町田支店への異動が栄転になることを心より祈念しております。

滝澤　勇君
傘寿のお祝いに、大きく綺麗なお花をいただきまして、ありがとうございます。また、妻に誕生日のお祝が届きました。ありがとうございました。

金井良雄君
入会祝いありがとうございました。

小島久美子君
誕生日のお祝いありがとうございました。

犬塚祥子君
竹内さん、厚木支店長お疲れさまでした。ライバル会社ではありますが、同期ロータリアンとして、仲良くさせて頂き、本当にありがとうございました。今後のご活躍お祈り申し上げます。

藤原純一君
私と妻の誕生日のお祝いありがとうございます。ビールグラスもボールペンもちょうどほしかったので、とてもうれしいです。なにより家族以外からのおめでとうが久々で、そのお気持ちが嬉しかったです。ありがとうございます。

例会「ロータリーの友月間」

担当：雑誌・広報・年史 委員長 会田義明君

「ロータリーの友」のあゆみ

１９５２(昭和２７)年４月、第６０地区の大会が開催されました。その年7月に迎える新年度(１９５２－５３年度)から、日本の地区は、当時東日本と西日本の２つの地区に分割されることに決定されていたようです。その地区大会では様々な問題点が話し合われましたが、その内の一つに日本の２地区で共通の雑誌を発行することの決定がありました。これまで共に活動をしてきた日本のロータリアンが、分割されてからも緊密に連絡を取り合い、情報を共有するための機関誌として企画されたのが始まりのようであります。第1回の準備会は大阪で、当時の星野行則ガバナーと露口四郎氏(共に大阪ロータリークラブ)の両名が幹事役となって、東京・横浜・京都・大阪・神戸の各クラブの代表者が出席して開催された。

「ロータリーの友」と命名

新しい雑誌について本格的に色々なことが決められたのは１９５２年８月１６日岐阜市の長良川河畔にあった大竹旅館での会合においてであった。１９５３(昭和２８)年１月から毎月発行すること、価格を５０円とするが、広告料を取って１００円分の内容のある雑誌とすること、そして名前を「ロータリーの友」とすることが決定されました。また、この会合では新しい雑誌を縦書きにするか横書きにするかで意見が分かれ、全会員よる投票を行ったところ２対１の割合で横書きが採用されることになった。当初の発行部数は３，３００部であった。参考として現在の発行部数を申し上げると今月号の「ロータリーの友」２０～２１ページに各国の発行部数が紹介されているが、現在日本の発行部数は９１，６００部となっています。様々な国がどの位発行されているのか是非ご覧になってください。

創刊号の表紙についてですが、１月～６月号まで絵柄は全く同じもので葛飾北斎の「凱風快晴」という題の富士山の表紙を使用し、８・９月号は安藤広重の「舞子の濱」という作品を使用し、毎月替わるようになったのは翌年の４月号からであった。

表紙が２つに

横書きでスタートした「ロータリーの友」であったが、その後俳句や歌壇など横組みでは具合の悪い欄が掲載されるようになり、これらを縦書きで入れるようになりました。１９７２（昭和４７）年１月号から縦書き、横書きを分けて、それぞれに表紙をつけるようになった。左側から開けると横書き、右側から開けると縦書きという形の雑誌になりました。

国際ロータリー公式地域雑誌に

１９７７年、ロータリークラブ定款第１０条（現１４条）の改定に伴い、公式地域雑誌（現ロータリー地域雑誌）の規定が設けられました。これによりロータリアンは国際ロータリーの機関誌だけでなくＲＩが指定した公式地域雑誌を購読することで会員としての義務を果たすことができるようになりました。「ロータリーの友」は、１９７９年７月号から１年間の試験期間を経て１９８０年7月号からＲＩ公式地域雑誌となりました。

２００３年１月に創刊５０周年を迎えるにあたって、これまでの良い伝統は継続しながら新しい５０年のスタートにふさわしい新鮮な「ロータリーの友」にするにはどうしたらいいのか２００１年秋から検討に入り、２００２年７月号から紙面を一新しました。サイズをＢ５判からＡ４判へ、またカラー写真のページを巻頭に持ってくるなどして親しみやすい「ロータリーの友」を目指しました。その後、技術の進歩と同時にリニューアルを繰り返し２０１４年１月号からは電子版を発行するようになり、最新号は毎月１日に更新されるようになり、更に内容も委員のみなさんにより検討されより楽しく親しみのある「ロータリーの友」になりつつ現在に至っています。

今月号も様々な内容のものが掲載されています。中には投稿できるコーナーもあります。興味のあるところからでも良いので是非読んでいただき、ロータリーを知っていただきたいと思います。

「友」のあゆみより抜粋

出席報告　＜会員 42 名、出席対象 38 名＞

8 月 24 日例会　　確定出席率 84.62％	9 月 7 日例会　　出席 32 名　欠席 6 名　出席率 84.21％
	＜欠席＞ 今井銀河君・金井良雄君・髙橋伸一郎君・中和信治君 難波有三君・藤原純一君